



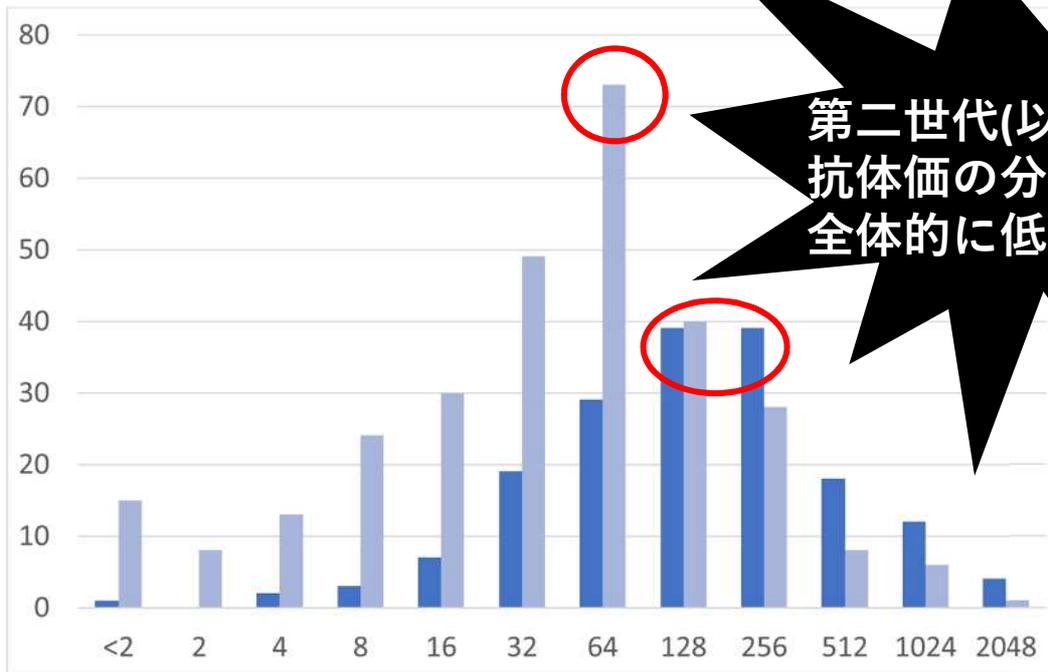
【豚熱】東三河管内における 母豚中和抗体価分布について（R4上半期）

令和4年4月～令和4年9月にかけて採血を実施した、当所管内4市（新城市を含む）における母豚の中和抗体価の分布について

世代（産歴）ごとの結果を共有します。

※縦軸：検体数 横軸：中和抗体価

- 第一世代(173検体)：ピーク128～256倍
- 第二世代(295検体)：ピーク64倍



第二世代(以降)が増え、
抗体価の分布が
全体的に低い！



【第一世代】

免疫（ワクチン抗体）を保たないままさらな状況で接種された初回接種母豚。県内で概ね6産以上の個体で、第二世代より、抗体価が高い傾向。

【第二世代（以降）】

第一世代から生まれ、移行抗体存在下で接種された母豚。県内で概ね1～5産の個体。

※いずれもR4年度上半期時点の区分

❁ **ワクチン接種日齢は40日齢を越えないようにしてください！**

例) 隔週接種の場合、接種日齢の範囲は◎24～38日齢

❁ 接種推奨日齢は【30日齢前後まで】❁

❁ **母豚の抗体価 = 子豚の移行抗体価**です。

初乳をしっかり飲ませるよう心がけましょう！

❁ 抗体価の分布は農場ごとに傾向が異なるため、検査についてご希望の方は、東部家保までご相談下さい。